

第22号
 発行日 平成9年10月10日
 発行所
 東京青山同窓会事務局
 〒151
 渋谷区幡ヶ谷1-7-4
 深津ビル4F
 TEL 03-3378-6616
 発行者 坂井 俊一

東京会報

東京青山同窓会
 東京青山同窓会年間維持費
 1口1,000円2口以上(年間)
 会計幹事 岩原 昭(53回)
 振込先
 さくら銀行 神田支店
 普3485843 東京青山同窓会
 郵便振込口座 00150-9-4074

平成9年度 東京青山同窓会新人歓迎会報告



斎藤英四郎・名誉会長・36回

さる6月13日、日本橋の東洋経済新報社ホールにて、東京青山同窓会・新人歓迎会が行われました。例年どおり、郷里新潟からは上村同窓会会長、上杉監査役、石田幹事長、および本年卒業生を担任された田村、灰野両先生がかけつけてくださいました。



斎藤伸雄・会長・44回

50名余の新人の、新高生にしては意外に遠慮がちな立ち居振舞いに、ややスローな立ち上がりで、まずは斎藤伸雄会長の挨拶から。続いて来賓を代表して上村会長よりご挨拶。今は新幹線が近くなったとはいうものの、見知らぬ

土地での新生活を始めた新人諸君であります。いにしへの当時の上京失敗談等を交えた大先輩の歓迎の言葉は彼らの胸にどう響いたでしょうか？また、旧3年の担任、灰野先生からは校舎新築中の母校の近況をご報告頂きました。続いて恒例の特別講演として、法政大学の小池教授より、各国企業の従業員キャリアに対する考え方に関する専門研究の一端を披露して頂きました。「新人を歓迎する話としては、自分が現在打ち込んでいる事を話すべきだろう」とはまさに正鵠を得て、その内容も我ら企業人には大変興味深く、一方、聞く側の新人たちはと気をつけてみると、これがまた集中して聞き入っている。「先輩の話がよく聞こえるように」と前から2列目に陣取った新人男子が印象的でした。さて、新人を代表して河原健太郎君の

返礼挨拶の後、懇親会に移り、佐藤副会長の乾杯に続いた斎藤英四郎名誉会長のご挨拶では、新潟県人の県民性との関連から、話は「新潟美人のルーツは朝鮮半島的美貌の血がオリジン」との説まで飛び出し、会場は大いに盛り上がりました。宴たけなわの中、これまた恒例の新旧校歌斉唱、坂井幹事長の閉会の挨拶、メのエールと続きにぎにぎしくお開きとなりました。また、昨年からの新発案、幹事会主催の二次会が同ビル地下一階の「うすけぼー」にて開催され、新人30名以上、田村・灰野両先生を含めた約50名が参加。懇親会の熱気を引き継ぐ形で貴重なコミュニケーションの場ができたと思います。世話役の皆さん、過分な寄付を下さいました多数の先輩方、どうもありがとうございました。 星野郁夫84回



講演会要約

平成9年4月23日 (水) 18:30より
於・東洋経済ホール

【毛利元就、厳島合戦勝利の「秘密」】

池 享 (77回)

一橋大学 経済学部教授

NHKで好評を博している大河ドラマ「毛利元就」の山場となる厳島合戦で、2千の毛利軍が2万の陶の大軍を破った勝因を歴史的に考察したい。一般に陶氏は狭い厳島に誘い込まれたために負けたと言われているが、必ずしもそうではない。厳島には水軍の重要な港や、桜尾城を睨む拠点、士気に影響を与え篤い信仰の対象となる厳島神社があるので陶氏にとって進軍する理由があった。真の勝因は奇襲作戦を成功させ「やる気」と「統制力」にあった。元就は重臣の協議により家督を継いだため、初めは委任された権限しか持たなかったが、「井上氏誅罰事件」等を通して家臣に忠節を誓わせ、次第に主従関係と統制力を強めた。家臣の間にも、毛利の支配が広がれば自分たちの利益も上がるとの意識が芽生え、総意のもとで戦いが始まり、士気が旺盛であったが故の勝利である。

この頃から、領主は、家臣に対して権力勾配の緩やかな言わば「商工会の会長」から、家臣を社員として統率する「社長」になってゆく。

元就は世の中の趨勢を洞察し、それに対応する体制を数十年かけて作り上げる緻密さと、目的を達成するためには背信をも厭わぬ非情さを併せ持つ恐るべき超一流の政治家であった。

【航空業界の最近の動き】

栗林 貞一 (59回)

日本航空(株)代表取締役副社長

昨年3月、新潟空港の滑走路が2000mから2500mに延長されてジャンボ機も離着陸できるようになり、直接ハワイを初めとする



長距離飛行が可能となった。日本航空はこの一年間で新潟からハワイへ15便の

青山同窓会総会に出席して

前田豊・88回

平成9年度青山同窓会総会は、7月18日(金)にホテル新潟大広間飛翔の間で行われました。受付入り口には平成13年に落成予定の新校舎完成図パネルが設置され地元名門校にふさわしい外観です。

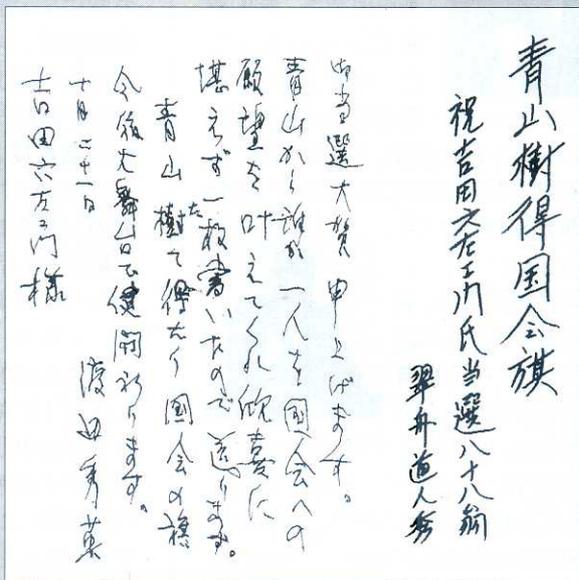
東京会からは佐藤良策副会長(53回)はじめ、福田満(58回)、佐藤邦雄事務局長(75回)、日下部朋子(82回)と私の5人が来賓として出席させていただきました。

総会は700余名の参加で大盛況で、会長、校長の挨拶、会計報告など満場一致の拍手で終了しました。

80回代のテーブルも懇親会に移る頃には空席が埋まり、同期とは近況報告を交わし先輩からは卒業20周年の際の模擬授業と同窓会の準備のアドバイスをいただきました。

今回最も印象的だったのは昨年の衆議院選挙にて初当選した吉田六左エ門(66回)先輩の恩師“团长”渡辺秀英先生(漢文)への大熱烈謝辞。つくづく師弟関係というものは一生ものと感じました。(吉田先輩には後日の取材にも快く応じていただきました。渡辺先生から吉田先輩に当てた私信を掲載させていただきます。)

この日の夜は当然のことながら2次会、3次会と流れ新潟の街は頭脳は停止し、飲み屋はどこも満員でした。



“团长”渡辺秀英先生の
吉田六左エ門氏(66回)への書簡

チャーターを運航したが、何れもほぼ満席であった。便数を増やしたいが日米航空協定が、両国の参入企業数・乗り入れ地点・乗り入れた先を飛行する以遠権、等について不平等な取り決めをしているので実現できない。ヨーロッパ等の先進各国の中には不平等な航空協定を破棄、あるいは破棄通告して運航している国もあるが、日米関係を考えると強硬手段は取り難いため、日本の航空会社は極めて不利な競争を強いられている。最近、航空業界でも規制緩和が進み、路線参入が自由になったため多くの路線で独占路線時代よりサービス・運賃共に改善されが、生活路線維持等のため、不

採算路線からの撤退の自由は留保せざるを得ない等、難しい問題もある。また、新しい航空会社が出来つつあるが、何れも飛行機の整備は他社に委託するらしい。

1978年に航空会社規制緩和法が実施された米国では、当初多くの航空会社が生まれたが、熾烈な競争のため150社にも及ぶ航空会社が倒産あるいは企業合併により姿を消し、結果的に国内旅客の9割以上を4社で押さえるという寡占状態になっている。日米間の違いはあるがこれからの航空界を考える上で参考になる話だろう。

母校は今

青山同窓会会報第65号(平成9年7月18日発行)より転載させていただきました。

○プレハブ生活がいよいよ始まりました。本来、新校舎建設中の緊急避難所的な意味が中心だったわけですが、できたの頃は明るくきれいな外観に感わされて、もう新校舎は建てなくてもこれでいい、という声すら聞こえたものです。入ってみれば、所詮プレハブはプレハブ、薄い、揺れる、聞こえる。やはり長く住む所ではなさそうです。

予定の2年間を(コンクリートの建物に

比して)ペナペナした感じが中の住人の精神面に悪影響を与えないように注意しつつ、無事に過ごしていきたいものだと思います。

幸に、多目的空間に机イスを持ち込んだり、トイレにカーテンを付けて薄さをカバーしたり、様々な工夫がなされ、少しでも住み良くしようという配慮は皆でしています。この調子なら大丈夫だと思います。

○本建築のトップを切って、セミナーハウスの建築が本年度行なわれます。

全体計画にはもちろん入っていたのですが、多分最後になるだろうと予測していたので、少々不意を突かれたというのが本音です。これは国の補助を得て建てられるもので、目的は研修と宿泊、名称は「本の研修交流施設」となっています。この7月中にも建設が始まり、年度内には校舎全体の設計をしてくれる久米設計の現実の建物が姿を現します。

訃報

南学君の逝去を悼む

高田信川(40回)

今年は冷夏と予報されながら、夏に入り俄かに真夏日と熱帯夜の連続で、その上台風も思い掛けぬほど多く、日本を襲ってきた。



普通の人でも有り難くないのに、まして病人の君には迷惑なことであつたらう。

南学君、こんな年に、病院が幾ら冷房が利いているからと言っても、癌という病気は、意識がはっきりしているので、辛かったことだろうね。

君は順天堂大学医学部には、新潟中学の先輩で、日本でも有名な先生がおられる、君も病気になるたらあそこへ行け、と教えてくれ、何処よりも信頼していた。

然し、癌だけは患部にもより、思ったようにはゆかず、無念であつた。

8月3日胆管癌のため、君は同病院で亡くなってしまった。

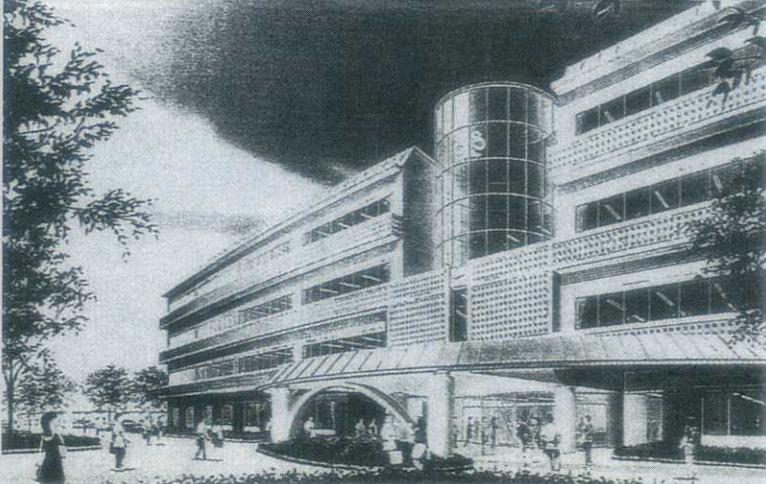
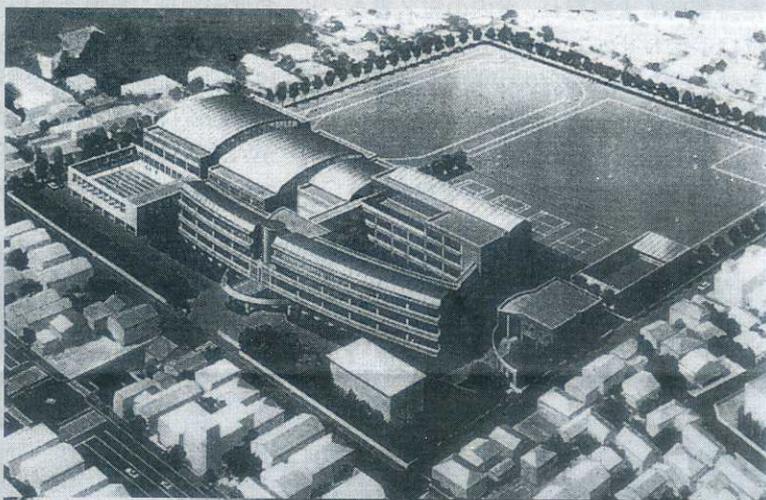
南学君、かつて新潟高校が、火災で全焼し、学校から同級生の代表が、校舎の再建のため募金の応援を依頼に上京した時、君が先頭に立って40回生を集め、募金活動をされた。当時まだ一番活躍中の年代だったことも幸いし、かなり良い募金成績だったことを思い出す。あれが切っ掛けとなり、約30名余が毎年クラス会を開く様になった。

その後、君が東京青山同窓会の会長を引き受けた頃には、同級生も少なくなり、私にクラス会を頼むと言って寄越したが、生憎私は秩父のゴルフ場に行かされており、期待に応えられず、君が暇になり、健康を取り戻したらまた集まろうと、年賀状に添え書きするのが関の山であつた。許してくれ。

8月7日、麻布善福寺会館での君の告別式には、政界・官界・財界・そして同窓会を始め大勢の友人が訪れたが、正に君の偉大さを示すものであつて、同期生として、誠に誇りに憶う。

どうか、君の安らかなる御冥福を祈る。

新校舎完成予想図



各学年の近況をお知らせ下さい。

53回

「古希を祝う同期会」

幹事・岩原昭

残暑の厳しい8月29日の午後、新潟市に縁のある新橋の小料理店「万代橋」に、旧制新潟中学校53回卒業生の古希を祝う会が開催された。

昭和16年大東亜戦争の始まった年に入学し、学徒動員で名古屋の航空機工場^{ウツカ}で働いた最後の1年間、戦禍の中で卒業した仲間である。

東京青山同窓会の会員53名中、当日参加者20名、戦後の激動期を日本国再建のために闘ってきた企業戦士である。

新潟本部の代表幹事篠原長一君より、会場宛に、名酒越乃寒梅が鄭重なる祝辞と共に贈られて来た。在京同期会幹事山田又典君より挨拶があり、全員の健康を祝福して、酒宴となった。長年東京青山同窓会の副会長として活躍している佐藤良策君や、将来将軍を夢みて陸士海兵海軍機関学校を卒業した小林武君、近藤圭二君、荒川邦寿君も元気な姿で出席された。林博君は、海軍特攻隊の予備学生として生き残り、今なお空調設備の経営者として第一線で手腕を發揮している。青陵健児として新潟中学の名前を有名にした、柔道部の猛者、塩谷芳男君は、戦後海上保安庁に入り、海洋日本の守りの戦士として戦ってきた。我々の恩師、国語の山猫先生(故人)のご子息本間俊典君は、今なお電源開発の技術者として頭脳的な役割を担っている。紙面の都合で同級生全員の紹介が出来ず残念ですが、美人女将岩淵矢江子さんの心くばりのサービスと、越後の名酒越乃寒梅のお陰で、全員が盛り上がり延長180分の古希の祝賀会でした。

来年は、本間君の提案で学徒動員思い出の地、名古屋で開催することに決まりました。

老年令を忘れた賑やかな青春時代のひとときでした。

夏草や兵どもが夢の跡 芭蕉

東京青山五十六期会

三崎正一

青陵・創立100周年記念号より
転記いたしました。

それは昭和41年頃神田で始まった。中山君がどうやって情報を得たのか判らないが同期生20人程の住所に「同期の集い」を呼び掛けてくれたのである。神田の小さな店の2階、確か14、5名の出席だったと記憶している。足掛け20年振りの浦島太郎達はお互いに顔を見合わせ昔の面影を探り合った。神田に次いで池袋の鬼子母神、美味しい魚で飲ませてくれる「大倉」は新潟者にはうってつけの店であった。また新宿の「鍋茶屋」もあった。その他の場所は思い出せないが、10年余りの間中山君は黙々と場所を設営し、皆に案内を出し、会を続けてくれた。(この間吉田・伊藤君が彼をアシストしていた。)また彼は東京青山同窓会の学年幹事も勤めてくれた。「何時も大変だね、案内の宛名書き位は手伝わせてよ、俺の会社で宛名書きをやるよ。足の便もいいしコピーも自由に取れるから」と、昭和51年頃から中山・吉田・宗村・堀の諸君が私の所に集まり、案内状をコピーし宛名を書き、東

京駅前^{ウツカ}の中央郵便局に投函して「今度は何人くらい集まるかなー、新顔は来るかなー」などと会の成功を肴に一杯を傾けるのが恒例になった。

昭和56年、宗村君が「今度はおれの所を事務局にしよう」と申し出てくれた。それから彼の七面八臂の活躍が始まる。彼はまず『「東京五十六期会」は新潟在住同期生をのぞく全国の同期生を網羅すべきである』との大方針を打ち立て情報収集を始めた。彼は仕事から出歩くことが多い。営業で都内各所を回りながらその方面の友人を片っ端から訪問する。仕事の合間に誰彼となく電話をかける。我々は密かに「電話魔」の敬称を奉った。電話番号が分かれば東北、関西、九州までかけまくった。かくして数年を経ずして名簿の登録は100名を越した。総会にはこれら遠隔地の同期生を含め参加者は年を追って増加し、現在は平均45名前後である。

総会は年1回。昭和51年は銀座の「松竹梅之酒蔵」これも中山君の紹介であり以後2回ここを用いた。しかし同店は35名位が限度、参加者多数で手狭になるという嬉しい悲鳴で、今度は池袋の「笹周」(「越乃寒梅」を飲ませることで知人ぞしる)に移った。そして又々中山君が六本木にある通産省の「霞会館」を世話してくれた。中山君は「便利な場所



53回の面々

安く出来る所]をモットーにいつもいい場所を紹介してくれた。この六本木で5年続けた。そして今度は白勢君の登場、昭和60年目黒にある農林中金の迎賓館「目黒寮」を世話してくれて今日に至っている。このように会場の設営がスムーズに出来たことが会の運営をどれだけ楽にしてくれたことか。

我々は会合の後には必ず「総会顛末記」と記念写真、最新の会員名簿を出席者のみならず名簿登録者全員に送付する。(その時出席できなかった人にも楽しい会の雰囲気と元気な同期生の姿を共有して貰うために)この「総会顛末記」は健筆に情熱の墨を付けて書き下ろす堀君の独壇場である。この堀君の功績(もう一つ、「青山五十六期会」は昭和56年彼の命名である。我々は新潟中学56回の卒業生、先述の「総会顛末記」に「五十六健児」の表現を登場させ、以降そのイソロクが56期の会の名称になった。一方昭和53年よりみんなに「近況通信」の投稿を依頼、「総会顛末期」を含めて会報を作った。手書き原稿のコピー判であったが60年まで続いた。この間の投稿は20数名、特に露谷・小松両君の「思い出話」、塩見君の近況報告等はさすがに文筆業の精練されたものであったが、その他の作品も負けず劣らず、いずれも珠玉の小品群であった。

新潟との第1回合同同期会は昭和52年「行形亭」で行った。以後回を重ねているが、何と言っても圧巻は「青山五十六期会全員集合」、「五十六期会」に因

み会員が56歳に達した昭和61年「ホテル新潟」で実施した。集う者は100名に達した。

昭和61年からは、日常の交流と言うことで、偶数月の16日(イソロクビ)国際ビル8階の名門「日本倶楽部」(白勢君が会員)で、お互いに講師となって勉強会や情報の交換会をしている。一方各地で「イソロクゴルフ会」(堀、市川君の幹事)も活発に活動している。

わが「青山五十六期会」は東京、新潟ともに同期の絆が強く、事あれば協力し合って今日に至っている。今年は母校百周年の記念募金とともに、「故郷に花を」と関屋分水有明大橋左岸に桜を植える事業に協力した。来年はこの桜のもと、みんなで美酒を酌み交わすのが今から楽しみである。

58回卒業生の玲瓏会

東京幹事・細貝実

第58回卒業の同級会は“玲瓏会”と言う。新潟中学校歌の冒頭句“玲瓏の天、仰ぐ時”から取ったものである。

我々は、今はもう死語になってしまったが所謂“戦中派”である。戦争のさ中に育って、中学2年の時に終戦を迎え、食物のない時に青春時代を過ごしたものだから未だに出されたご馳走を食べ

残すのは勿体ないと言う意識があって、つい食べ過ぎて肥ってしまう。

卒業生の半分近くが地元新潟に残っているが、あとの半分は東京を中心とした県外に出ている。従って玲瓏会も新潟と東京に2つある勘定で毎年2回、新潟は曜日に関係なく58回を記念して5月18日に、東京は10月下旬か11月上旬の金曜日に開催することになっている。いずれも30名余りの同級生が集まるので卒業生の少なかった学年としては、而も40年余りも続いているのは青山同窓会の中でも結束が固いと言えるのではないだろうか。

又東京玲瓏会の開催日が近付いて来た。とても楽しみにしている。年をとると昔の仲間が恋しくなるのであろうか。何十年振りかでひょっこり新顔が現れる。玲瓏会の幹事は毎年変わる二人づつの当番制で、古顔とこの新入会員のコンビでやらせられる。このところ毎年安田信託銀行の市ヶ谷ハウスでやるのも物忘れ年頃には有り難い。

学生時代の友人の良さは損得勘定がないから、昔の俣の、つまり“はだか”の俣でつきあうことが出来ることだ。

本居宣長の座右銘に「好・信・楽」というのがある。自分の好きな道を世の中の為になると信じて且つ、楽しくやると言うものでこの信条でこれから第2の人生を過ごして行きたいと思う。同窓会は級会の集まり、あと4年、70歳の古希の祝いには、玲瓏会を盛大にやり度いものと思っている。



寄稿 玲瓏と百里と

富所強哉(46回)

4月23日の講演会締め括りの校歌斉唱で中学校歌5番の、いつもは「真白き砂の」と歌うところを久し振りに「白砂塵なき」と歌うことができ喜ばしいことであった。

また続いての高校校歌のリーダーが大学在学中の若い102回生だったのも嬉しかった。

白砂と歌うことができたのはリーダーの三崎さんから今回は配布の歌詞通りにとの指示があったからだが、その際に歌詞変更の事情をよく知らないがとの発言があった。それについては御承知の方も多いと思いますが青山百年史によると、昭和15年に文部省による校歌の点検を受けた際に、「玲瓏の天あふぐ時」で始まる校歌は4番の「裏日本の覇者として」を「裏日本に名を挙げて」に替え、5番の「白砂塵なき丘の上」を「真白き砂の丘の上」と改定するやうにと、文部大臣の認可を知らせる県の学務課長からの文書にあったことに因るようす。

この指示が「皇道(王道)が至上とされた当時であって、正道から外れた覇者という語を歌詞から除くため白砂はそのついでだった」趣旨の文を何かで読んだことがあるが、当時を知る者には納得できるところである。

改定の因になった思考の可否は別にして、その状況が解消されたのに改定された歌詞で歌うのは作者者の意に背くもので原歌詞で歌うべき、との稿を平成5年に青山同窓会会報に

寄せたところ、現在の歌詞で歌いなれた人が多くなっておりかえって混乱を招くことになるからそのままにしたい、との丁寧な連絡を校長から頂いたのであった。

仕方のないことと承知してはいるが覇者・白砂への郷愁は強い。尚付言するといつも歌う1番5番だけでは欲求不満で駅からの人家のない道で全曲を歌い直すのが常である。

ところで東京青山同窓会との縁は15年ほど前に、学年幹事に任命する(同期会の幹事は別にいるのに)という通知が何の相談もなく突然舞い込んだのが始まりで、同期の誰も出席しないので義理で出席しているうちに最初は戦前の我々とはセンスが違うとの違和感が強くて聞くだけだっ

た今の校歌も皆さんと一緒に歌えるように、そして会合が楽しく感じられるようになり集まりにはできるだけ出席するようにしているのが現状である。

出席されたことのない方々にお勧めしたい。知った顔もなくつまらないと思っても参加を重ねるうちに話し相手もでき楽しさを感じるようになるでしょうし、母校の歌を、玲瓏の天であれ百里流れてであれ、斉唱していると一体感も湧いて来ようというものです。親元の青山同窓会会長である上村さんが会報で述べておられたように、母校の歌は年代の違う同窓生の強い強い接着剤なのです。ぜひ出席し歌うようお勧めし稿を了えます。

住所リスト出力サービスのお知らせ

当同窓会では、皆さんからの情報を元に常に会員の住所録をコンピューターにて更新しております。「同期会をやってみたいけれど、皆の住所がわからない…。アイツは今どうしているんだろう?」などとお思いの方は事務局までお尋ね下さい。学年毎のリストを実費にてお届けいたします。

ご希望の学年と、リストか、ラベルかを明記し、右記の費用(切手にて)を同封の上、事務局までお送り下さい。

- 住所リスト
1学年/1500円分の切手
- 宛名ラベル
1学年/2000円分の切手

同窓会年会費 自動引き落としのご案内

当同窓会では、振込に手間も手数料もいらぬ「口座引き落とし」のシステムを導入しております。お手続きいただいた方にはお名前入りのIDカードをお作りいたします。ご希望の方は、事務局までご一報下さるか、今回の総会の受付までお申し出下さいませ。



郵便局に出かける手間が省けます

振替手数料が無料になります

IDカードとしてお持ちください

事務局より

東京青山同窓会は 人脈の宝庫

【東京青山同窓会イエローページ】

同窓会の事務局を引き受けて3年になります。いつも人集めと会の設定に追われています。でもいろいろな先輩後輩と改めて出会うことができ、嬉しい時が多々あります。

僕はワインの輸入会社をしているのですが、設立から今日まで、毎月の経理事務、決算書の作成など同級生だった税士(株)の萬歳信行君(75回)にお願いしています。真面目な人なので間違いがなく、本当に信頼がおけます。

また同級生でラグビー部でも一緒だった遠藤正晴君には、住宅の修理やお店を開店した際にお世話になりました。非常に良くしてもらい頭がさがります。

昨年突然の眩暈に襲われ救急車で病院に運ばれたことがあったのですが、その後のリハビリでは、1年先輩の西治療院の上田久則氏(74回)にお世話になりました。基本的な整体を教えていただき、以前より健康になったような気がします。

続いて、一昨年同窓会の運営費の不足を補うための広告集めを行ったとき、有馬山の佐藤歯科医院の佐藤浩氏(74回)が快く引き受けてくれたのですが、その後、御礼にお邪魔する機会がありませんでした。先日歯の治療が必要となりお伺いしたのですが、わかりやすい説明と丁寧な治療で、いつも満員です。

保険は、ソニー生命の前田豊氏(88回)が保険のことを良く説明してくれ、今までと違った考えで保険を見直すことができました。もう一方、アメリカンファミリー保険では、安達信吾先輩(54回)にお世話になっております。

先日来、弁護士の山崎隆夫氏(75回)には社内外の問題で協力していただいております。「今迄の何気ない行為が意外な問題を引き起こすので、注意深く行動した方がよい。」とアドバイスされ反省しています。

そして一龍屋台村の三浦愛三先輩(62

平成9年度 東京青山同窓会 総会のお知らせ

平成9年11月14日(金)

p.m.5:30受付開始

p.m.6:00開始

サンケイホール(サンケイ会館5F)

会費/一般・8000円

女性・5000円

学生・3000円

会場連絡先/03-3231-7171

千代田区大手町1-7-2

■前売り券の発行について

各学年幹事などより依頼の予定です。是非事前購入のご協力をお願いいたします。

式次第(予定)

【総会】

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議題
 - (1) 会務報告並びに役員改選
 - (2) 平成8年度決算報告
 - (3) 平成9年度予算

4. 閉会の辞

【懇親会】

1. 開会の辞
2. 来賓挨拶
3. 校歌斉唱(新・旧)
4. 開宴・乾杯
5. 応援歌合唱
6. 万歳三唱
7. 閉会の辞

回)やコンピューター会社の小飯塚先輩にもいろいろお世話になっております。

今から20年近く前、船舶会社の友人から小野さんという人を紹介され、5年位何かとお世話になりました。ある時、新潟の話から、小野さんは71回の先輩であったことが分かり驚きました。小野さんが台北の子会社の社長になられてからも私が台北に出張した折には大変お世話になりました。今は、ケイラインエンタープライズ社の社長をされています。

その小野さんに紹介され、会報に会社紹介の記事を載せるためにお伺いした「寿司田」の社長の太田先輩は私が大学受験の時に世話になった下宿に当時大学生として住んでいた方でした。大学生は「カッコいいなあ」とその時思い、受験に一層の集中力が出ました。30年振りにお会いした時、当時の自分の心境を思い出すことができ感動しました。太田さんの方は体型的にかなり膨張されていましたが、相変わらず前向きな方でした。小野さんと太田さんと小飯塚さん

は同級生でした。

お互い新潟の人ですから当たり前といえば当たり前かも知れませんが、偶然は面白いものですね。

私事ばかりで申し訳ありませんでしたが、まだまだ挙げればきりがありませんが、色々な人との付き合いの中で気のおけない友人達として同窓の人をレパートリーに加えてみたらいかがでしょうか？

同窓会が単に懐かしく過去を振り返るだけの集まりではなく、人と人との繋がりを作る場として利用されること、知識や情報を得る場であること、仕事に活用できる実践的な場となることを期待しています。

もちろん、皆さんのほとんどがもう既存のルートをお持ちでしょうが、万が一、必要な場合は、何なりと事務局までお電話下さい。ほとんどの職業が揃います。

<事務局>

TEL. 03-3378-6616

FAX. 03-5388-6794

事務局長 佐藤邦雄(75回)

平成8年度・会費納入者一覧

H9.3.1~H9.9.30現在まで

Table listing members and their dues payment status. Columns include member names, counts, and names. Includes a note at the bottom: '■年会費未納の方は、同封の振替用紙にてお振込下さい。(1口1000円、2口以上でお願いいたします。)'

以上571名